

## 中越地区研究集会

### 1 地区研究集会の概要

- (1) 期 日 平成24年10月3日（水）
- (2) 会 場 燕市立燕西小学校
- (3) 日 程

12:50 13:20

14:00 14:15

16:25 16:35

受付	開会式	会場移動 休憩 部会打合	分科会	閉会式
----	-----	--------------------	-----	-----

### 2 大会開催に向けて

本研究集会は、燕市・西蒲原郡小学校長会が主管、加茂市・南蒲原郡小学校長会の協力をいただき、準備・当日開催に当たった。

当地での開催決定が昨年11月末であったため、12月に急きょ前年度主管の南魚沼市・湯沢町小学校長会に引き継ぎを願ひ、慌ただしい中で企画をすることとなった。

本大会では、「本当にためになった。得ることの多い大会であった。」という感想をもっただけのものにしたい、と引き継がれた運営方法をもとに次の取組を行った。

1つ目は、以下のようにレポートの項目立てを統一した。

- ・「分科会課題に関する実態」
- ・「改善のための具体的な方策と取組内容」  
（「校長」を主語にする）
- ・「取組の成果と残された課題」

項目を統一することによって、分科会での話し合いをより焦点化した。

2つ目は、10部会23分科会を設定し、さらに分科会をA・Bの小グループに分けて、以下のように話し合った。

- ・A・Bグループ(4~5人)に分け、ワークショップ型協議手法で85協議する。
- ・A・Bグループでの協議をもとに、部会全体で課題解決策を検討する。

### 3 研究集会の概要

#### (1) 開会式

来賓として、中越教育事務所長根布屋由規様、燕市長鈴木力様、弥彦村副村長本多啓三様、燕市教育長藤澤健一様、弥彦村教育長清野博様、県中学校長会常任理事長谷川浩司様からご臨席いただいた。

開会式では、山岸真夫県小学校長会副会長が『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの“マネジメント”を読んだら』の作者、岩崎夏海氏のエッセイを例に指導者としての精神的な高潔さを紹介し「長善館で学んだ人たちの心意気を思い、校長、教員として必要な高潔さを感じながら研修を深めたい」と会員に呼び掛けた。最後に湯本正明県小学校長会研修副部長が大会趣旨説明を行った。

#### (2) 部会協議

燕西小学校の全面的な協力をいただき、体育館での全体会の後、各教室で分科会を行った。同一会場で移動の時間短縮ができ、その分、協議の時間が確保できた。

A・Bのグループごとに水色付箋紙に各校の課題を記入し、模造紙に貼りながら説明をする。進行役を中心に、出された課題を分類し、共通課題を設定する。桃色付箋紙に、課題解決の具体策を記入し、それを貼りながら検討をし合った。座ることを忘れて立ったまま熱のある話し合いをしたグループもあり、分科会ではA・Bグループの発表をもとにさらなる検討がなされた。